<table>
<tr><td>コース名</td><td colspan="2">反応点治療【Ⅲ期】</td><td>講師</td><td>河村・森川
他</td></tr>
<tr><td>実施期間</td><td colspan="2">2023 年 12 月 6 日～2024 年 3 月 6 日
水曜日 16：30～18：00</td><td>定員
（最小／最大）</td><td>5／20 名</td></tr>
<tr><td>概要</td><td colspan="4">・内臓疾患と筋の痛みに対応できるようになる。
・現代医学（神経学）に基づいた鍼灸治療を習得する。
・臨床で実践できる鍼灸治療を習得し、卒後即開業を目指す。</td></tr>
<tr><td>回数</td><td>日程</td><td colspan="3">内容</td></tr>
<tr><td>第 01 回</td><td>12/6</td><td colspan="3" rowspan="10">レベル別にグループになり、自ら体験し納得する「実技」中心の授業です。
【入門コース】「反応点の回復を感じることができる」
鍼やローラー鍼刺激によって皮膚の反応点が変化する面白さを感じてもらいます。痛みを感じない刺し方、横刺、安全な刺鍼を学び、浅層筋や菱形筋の反応点を検出し、回復させます。内臓固有の反応点があることを知ります。
【初級コース】「深部筋と体幹の内臓反応点の部位を理解している」
代表的な体幹の「内臓」と「筋」の反応点を回復できるようにします。
内臓と筋の関係（内臓－体性反射）を学びます。
【中級コース】「全身の内臓反応点の理解、効率よい治療を考えられる」
頭部（特殊感覚器など）の反応点を学びます。一次痛と二次痛を区別し、痛みの真因を探ります。自原抑制の影響範囲を知り効率良い治療を考えます。
【習熟コース】「痛みとその原因に対して治療ができる」
身体部位別の痛み（頭痛・肩こり・腰痛など）とその原因を理解して、反応点治療ができるようになります。反応点の絶対的評価を目標にします。
【臨床応用コース】「臨床に応用できる」
臨床において、患者さんが納得することが重要です。治療師の意見を端的に分かりやすく説明し、説明通りの治療を展開できるようにします。学生や教員を被験者として、実臨床を想定した反応点治療を行ってもらいます。</td></tr>
<tr><td>第 02 回</td><td>12/13</td></tr>
<tr><td>第 03 回</td><td>12/20</td></tr>
<tr><td>第 04 回</td><td>1/10</td></tr>
<tr><td>第 05 回</td><td>1/17</td></tr>
<tr><td>第 06 回</td><td>1/24</td></tr>
<tr><td>第 07 回</td><td>1/31</td></tr>
<tr><td>第 08 回</td><td>2/7</td></tr>
<tr><td>第 09 回</td><td>2/14</td></tr>
<tr><td>第 10 回</td><td>2/28</td></tr>
<tr><td>第 11 回</td><td>3/6</td></tr>
<tr><td colspan="5">備考　コース別の到達目標に沿って、複数の教員（3～4 名）がグループごとに指導します。
中級コース以上の修了者に、反応点治療研究会から修了証を発行します。
受講料は２２，０００円です。</td></tr>
</table>